

## 2 長野県立大学

### (1) 概要

所在地	長野市三輪8-49-7
学長	金田一 真澄 (初代学長、H30.4.1~)
敷地面積	41,855.54 m <sup>2</sup>
建物面積	27,998.60 m <sup>2</sup>

### (2) 学生数

(令和2年5月1日現在) (単位:人、%)

区分	総定員 (A)	在学者数					充足率 (B) / (A)
		1年	2年	3年	4年	計(B)	
グローバルマネジメント学部	510	175	171	170	—	516	101.2
グローバルマネジメント学科	510	175	171	170	—	516	101.2
健康発達学部	210	70	70	71	—	211	100.5
食健康学科	90	30	30	31	—	91	101.1
こども学科	120	40	40	40	—	120	100.0
計	720	245	241	241	—	727	101.0

### (3) 教職員数

(令和2年5月1日現在) (単位:人)

学長	教授	准教授	講師	助教	助手	事務職員	計
1	27	23	8	7	5	47	118

#### (4) 教育課程内容

学 部	学 科	主 な 内 容	取得できる 免許・資格
グローバル マネジメント 学部	グローバル マネジメント 学科	<p>○グローバル・ビジネスコース 経営学、経済学、会計学、法学などの企業経営に関する知識を修得し、現代のビジネスには不可欠な「グローバルな視野」で組織を動かし、物事を変えていくマネジメント力や実践力を養成。</p> <p>○企（起）業家コース 起業、事業承継、第二創業に関する知識を修得し、広い視野と柔軟な発想により、社会や地域の課題を解決するための新たな事業を立ち上げる構想力や実践力、起業家マインドを養成。</p> <p>○公共経営コース 行政組織や地方自治制度などの公共経営に関する知識を修得し、地域課題を解決するための企画立案力や実践力を養成。</p>	
健康発達学部	食健康学科	栄養学を中心として、食物や人体に関する専門知識・技術を修得し、エビデンス（科学的根拠）に基づき、人を対象として栄養マネジメントを行うことができる実践力を養成。	管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭1種免許、栄養士
	こども学科	新たな保育の創造や保育・子育ての課題解決を行うことができる専門性と実践力を修得し、将来の保育・幼児教育のリーダーとなる人材を育成。	保育士、幼稚園教諭1種免許

#### (5) 地域貢献活動

##### ア 産学官連携の取組

##### ① 自治体・企業等との連携

県、市町村及び企業等と連携し、互いの長所を活かしながら地域におけるソーシャル・イノベーションを創出するため、新たな展開につながる取組を行った。

具体的には、8月に新たな包括連携協定を、長野県教育委員会及びKDDI(株)と締結した。

また、飯山市の「飯山グッドビジネス」、松川町の「生きるをつくるをつなぐ自律分散型社会の仕組みづくり事業」、県、県木曾・北信地域振興局が行う女性や若者、地域おこし協力隊向けの起業塾の実施等を支援した。

##### ② SDG s 支援の取組

ソーシャル・イノベーション創出センターの職員が中心となり、関係機関と連携しながらSDG sを切り口とした事業者支援に取り組んだ。

具体的には、県や市町村主催の各起業塾（計6回）、須坂市幹部職員研修（8月）、長野吉田高校（2月）において、チーフ・キュレーター及びCSI職員がSDG sに関する講演等を行った。

また、国や県と連携した新たな取組として、チーフ・キュレーターが農林水産省の「あふの環 2030 プロジェクト」、「長野県 SDG s 推進企業登録制度」、「長野県契約審議会」に参画し助言等を行った。

[長野吉田高校講演（オンライン）]



## イ 地域連携の取組

- ① 地域の人的・物的資源を事業創造に結び付ける取組や事業者・創業者等の支援（C S I）

飯山市においてアドバイザー・メンバーの知見を活かしながら市と連携して「飯山グッドビジネス」を実施することにより、事業者のブラッシュアップによる地域活性化を支援した。

また、県内企業が自社の資源を再発見して新たな事業創造に結び付ける取組の支援（C S Iセンター長による講演）を行った。

さらに、県北信地域振興局「地域おこし協力隊起業塾」、県木曾地域振興局による女性・若者を対象とした「K I S O女性若者起業塾」の実施を支援し（チーフ・キュレーターによる講義）、女性や若者、地域おこし協力隊による社会的起業を促進した。



[K I S O女性若者起業塾]

- ② 県長野保健福祉事務所との連携事業（食健康学科）

県長野保健福祉事務所健康づくり支援課と連携し、3年生3人とともに、令和元年度に県庁食堂に設置した栄養情報提供媒体の卓上メモを1月に刷新した。長野県民の食生活の課題である食塩の過剰摂取と野菜摂取量減少の解決を目的として栄養健康情報の提供を行い、食堂利用者やスタッフから、正しい情報収集と行動変容の動機付けになったとの評価を得た。

また、2、3年生7名とともに「若い世代の健康づくり」事業の一環として、野菜および果物の適量摂取を図ることを目的に普及啓発用リーフレットを3月に作成した。若者に対して、身近にある野菜や果物のよさを認識する機会の創出や健康づくりに対する意識の醸成につなげた。



[リーフレット]

- ③ 災害時に活用できるレシピ集の発刊（食健康学科）

応用栄養学を学ぶ3年生31名が、令和元年東日本台風による災害をきっかけに、災害時にも役立つ簡単レシピを考案し、まとめた「“あなたに届けたい” 私たちの応援レシピ災害編」を2月に発刊した。ホームページで公開するとともに、地域の関係者や団体等へも配布し、発災時に地域住民の健康を守る一助となることが期待されている。



[応援レシピ冊子]

- ④ 子育て講座、子育て支援担当者の連携協議会の開催（こども学科）

地域で子育てをする保護者（親子）を対象に「オンラインおしゃべりカフェ」（計4回、延べ7組14人参加）、「オンライン子育て講座」（計2回、延べ6組12人参加）を実施した。これらの活動には、保護者支援の実際を学ぶことを目的として保育者をめざす学生も運営スタッフとして参画した（学生延べ16人参加）。

また、子育て中の親子に関する情報共有や関係機関の連携を目的として、長野県内の地域子育て支援の実務担当者を対象とした協議会をオンラインで開催し

た。長野市、飯綱町、松本市、飯田市から参加があった。行政関係者のほか、保育所、子育て支援センターや子育てひろば、NPO法人など、地域で保育や子育て支援、子ども宅食などに取り組む多様な関係者との連携を図った（計1回、延べ18人参加）。

⑤ 飯綱町の委託事業による地域子育て支援センター設立準備と保育士研修の実施（こども学科）

地域で子育てをする保護者（親子）を対象に「ママとねんねちゃんのおしゃべりカフェ」（計4回、延べ31組63人参加）、「新米ママ&パパのための子育て講座」（計3回、延べ46組92人参加）を実施した。これらの活動には、保護者支援の実際を学ぶことを目的として保育者をめざす学生も運営スタッフとして参画した（学生延べ92人参加）。

また、子育て中の親子に関する情報共有や関係機関の連携を目的として、長野市や周辺地域の地域子育て支援の実務担当者を対象とした協議会を開催した。行政関係者のほか、子育て支援センター職員、保育関係者、助産師など、地域で子育て支援、虐待対応などに取り組む多様な関係者との連携を図った（計2回、延べ28人参加）。



[装飾づくり]

⑥ 学生による地域子育て支援活動（こども学科）

こども学科の「ひろば」での子育て支援活動はコロナ禍で実施できなかったが、〈地域貢献サークルぐるんぱ〉の学生が主体となって子育て家庭向けのオペレッタ・おもちゃづくり・わらべうた遊びなどの配信を継続的に行った。3月には、子育て情報誌「ぐるんぱ」（月刊、オンラインでも閲覧可）を発行した。また、オンラインでの「親子のひろば」を開催した（1回）。



[オペレッタ]



[子育て情報誌]

ウ 学びの場の提供

① 県民や学生に対する多様な学びの機会の提供

地域に開かれた大学として、令和元年度に引き続き、「信州ソーシャル・イノベーション塾」、「専門職向け起業塾」、「公開講座」、「コラボ公開講座」を開催した。

また、県教委とKDDI(株)との包括連携協定に基づく連携事業として本学の学生や県立高校生、長野高専生を対象に第一線で活躍する若手起業家による「ベンチャー起業家講演会」を開催した。さらに、学生自らが企画、ゲスト調整、広報、当日運営など一連の活動に取り組む学生先導型公開講座「UNMUTE YOURSELF」を開催した。



[ベンチャー起業家講演会]



[学生先導型公開講座]

[ベンチャー起業家講演会開催実績]

テーマ「ベンチャー起業家が語る起業家マインド」

開催日	ゲスト
9/23	(株)TASTE LOCAL代表取締役社長 篠塚考哉氏
10/21	アル(株)創業者、CEO 古川健介氏
11/25	(株)ルクサ創業初期メンバー・元CEO、現ビズリーチ取締役 村田聡氏
12/9	(株)Moonshot代表取締役CEO 菅原健一氏
1/20	コネヒト(株)創業者、元CEO 大湯俊介氏

[学生先導型公開講座「UNMUTE YOURSELF」開催実績]

～理事長裁量経費活用事業～

12/16	「居場所」を求めて～ゲストハウスオーナーと考える「自分の居場所」～ (1166バックパッカーズ宿主 飯室織絵氏、オランダで日本人向けゲストハウス運営 内海祥子氏)
12/21	多文化共生を考える (翻訳家、通訳者 金田ブレンダ氏)
2/17	Arts in a Trans-Global Time (MADプログラム・ディレクター/NPO 法人AIT副ディレクター ロジャー・マクドナルド氏)
3/5	GROWばる～as a member of globalization～ (ニュージーランド国会議員 Melissa Lee氏)

② 県内教育機関との連携

8月4日に長野県教育委員会、KDDI(株)と3者で包括連携協定を締結した。ITに優れた知見と技術を有し起業支援にも実績のある企業と県内すべての県立高校を所管する県教委との連携により取組の幅が広がった。その成果として、9月から実施された「ベンチャー起業家講演会」には、本学学生に加えて延べ10人を超える高校生も参加したほか、高校生と企業経営者の交流を図る「JIBUN 発 旅するラボ」も動き出した。

また、県内高校の人材育成に資するため、飯山高校探究科授業や軽井沢高校「魅力化検討委員会」、上田高校「北陸新幹線サミット」、木曾青峰高校「未来の学校構築事業」等の実施をC S I教職員が支援した。

[包括連携協定県教委、KDDI(株)]



③ 学生による地域との連携・交流の主な取組

各種団体が開催するイベント等に希望する学生を積極的に参加させるなど、C S Iと地域コーディネーターが以下のような機会を作ることにより、学生による地域との連携・交流を促進した。

○ ソーシャル・イノベーション創出センターの取組例

学生が地域の企業や自治体の具体的なプロジェクトにリモート参加し、大学での学びを実践の中で深める学習（RPBL）プログラムを、松川町、カミツレ研究所（池田町）と連携のもと試行した。またリモート参加型という特色を新しい働き方、社会参画の形として IT 関連イベント「Nagano Fledge」にて実践報告した。

また、学生による具体的な起業2件をC S I 及びアドバイザー・メンバー等が支援した。具体的には、「合同会社キキ（学生シェアハウスと地域でのコミュニティ形成事業）」、「ODDO coffee（特徴あるコーヒー等販売）」が、地域の支援も受け、起業した。



[RPBL（松川町）]



[ODDO coffee]



[学生向けシェアハウス]

○ 地域コーディネーターの取組例

「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」構築に向けた地域資源の整理や地域ビジネス創出等のためのワークショップ（環境省事業、根羽村、学生1人参加）、「飯山グッドビジネス」における新規ビジネスの創出支援、県地域振興局主催の起業塾での講義などに取り組んだ。

また、地域づくりの拠点となるコワーキングスペース（茅野市、富士見町、塩尻市等）を訪問し意見交換するとともに、県内の全コワーキングスペースに各種イベントの案内を行う等関係づくりを進めた。

なお、これらの取組と本学の多様な講義（「アントレプレナーシップ論」（C S I センター長）、「キュレーター概論」（チーフ・キュレーター）をはじめ様々な教員による講義）との連携を図り、大学教育との連携を進めている。

(6) 一般講座

ア 信州ソーシャル・イノベーション塾

開催方法：オンライン講座

開催日	テーマ	講師	受講者数
1日講座 10月23日			8名
連続講座 (全4回) 11月13日 12月18日 1月22日 2月19日	セルフマネジメント（マインドフルネス）とデザイン思考をベースに、「違うものをつくりだす」こと	稲場 聡一郎氏（Transform LLC. 共同創業者・パートナー） 中村 珠希氏（epiQ Co., Ltd. 取締役）	7名

イ 専門職向け起業塾 ※連続講座（全4回（うちR2年度2回））

共催：日本開業保健師協会長野研究会 開催方法：オンライン講座

開催日	テーマ	講師	受講者数
2月19日 3月6日	保健医療福祉専門職向け起業塾 「セットアップ編」	秋葉 芳江（長野県立大学C S I チーフ・キュレーター）	2名

ウ コラボ公開講座

共催：長野ミライ会議 開催方法：オンライン講座

開催日	テーマ	講師	受講者数
7/14	ソーシャル・イノベーション創出センター（CSI）って何？	秋葉 芳江（長野県立大学CSIチーフ・キュレーター）	延べ約155名
8/4	ローカルな「集う場」のこれから	堀下 恭平氏（㈱しびつくばわー代表取締役社長）、藤本 遼氏（㈱ここにある代表取締役）、土肥 梨恵子氏（“HATSU鎌倉”コミュニティマネージャー）	
10/29	ローカルメディアのこれから	NHK長野放送局、長野朝日放送、信濃毎日新聞社	

エ CSI 公開講座 開催方法：オンライン講座

開催日	テーマ	講師	受講者数
10/2	エッセンシャル版セルフマネジメント&デザイン思考～創造的になるためのポイントを理解しよう～	稲埜 聡一郎氏（Transform LLC. 共同創業者・パートナー） 中村 珠希氏（epiQ Co., Ltd. 取締役）	59名
10/7	持続可能な経営を紐解く～VUCA時代における不易流行の経営	藤井 大史郎氏（藤屋御本陣17代当主 ㈱藤屋代表取締役）	48名
10/28	「SOUMU（総務）に未来を！」 SOU-MU N I G I T@長野県立大学	田中 慎氏（税理士法人田中経営会計事務所代表）、SOU-MUプロジェクトメンバー	30名
1/7	どうして学生のうちに起業したの？～長野で起業した学生たちのぶっちゃけ座談会～ （長野スタートアップカフェとのコラボ開催）	松前 桃子氏（TRIANGLE）、小倉 翔太氏（ODDO coffee）、九里 美綺氏（合同会社キキ）	55名
2/22	HELLO, Privacy by Design～個人/企業は、データの持ち主とどう向き合うべきか～	今村 桃子氏（(一社)Privacy by Design Lab副代表理事・共同創業者）	44名

オ 学生先導型 CSI 公開講座 UNMUTE YOURSELF～「グローバル」サイコウ？

開催方法：オンライン講座

開催日	テーマ	講師	受講者数
12/16	「居場所」を求めて～ゲストハウスオーナーと考える「自分の居場所」～	飯室 織江氏（1166バックパッカーズ宿主）、内海 祥子氏（オランダで日本人向けゲストハウス運営）	延べ約148名
12/21	多文化共生を考える	金田 ブレンダ氏（翻訳者、通訳者）	
2/17	Arts in a Trans-Global Time	ロジャー・マクドナルド氏（MADプログラム・ディレクター/NPO法人AIT副ディレクター）	
3/5	GROWばる～as a member of globalization～	Melissa Lee氏（ニュージーランド国会議員）	

カ デリバリー・アカデミア（旧. 出前講座）

申込者	開催日	場 所	テーマ	講 師	受講者数
木曽青峰高等学校	6月22日	木曽青峰高等学校 格技室	だれでもできる 哲学対話	馬場 智一准教授	59名
須坂市立東中学校	6月30日	須坂市立東中学校 体育館	だれでもできる 哲学対話	馬場 智一准教授	45名
松本県ヶ丘高等学校	12月1日	長野市生涯学習 センター	地域社会におけ る男女共同参画 について	築山 秀夫 教授	47名
長野市生涯学習セン ター	3月26日	長野市生涯学習 センター	地域産業の活性 化要因について	尹 大栄 教授	15名

キ ながのシニアライフアカデミー（NaSLA）

共催：長野市・信州大学 開催場所：長野市ふれあい福祉センター

開催日	テーマ	講 師	受講者数
2月22日	特別講演会	金田一 真澄 県立大学長	56名